令和３年度事業報告書

特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

Ⅰ　事業期間

令和３年４月１日～令和４年３月３１日

Ⅱ　事業の成果

地震科学における「オープンサイエンス」運動を進め、幅広い人々が学ぶ機会を設けて地域の地震防災・減災社会の構築に取り組み、同時に地域の人々との交流も図ることができた。また、一般見学会や防災講演会などを通して地域住民の方々に地震に関する知識・関心を持っていただくことに寄与できました。

小学生対象の夏休み企画として「ペットボトル地震計講座」では、ペットボトルを使って簡易な地震計を作って地震計の仕組みなどを学び、地震科学にも興味を持ってもらうことができました。

今期から当法人主催で新たにスタートした講演会シリーズ「新まんてんてらこや」を開催しました。地震科学や防災学について、最新の研究成果や役立つ話題などを提供して市民の方々に学び合う機会を作り、地震や防災・減災に関心を持ってもらうことができました。

阿武山観測所及び当法人を紹介した冊子「阿武山観測所ガイドブック」を制作・販売して収益にも貢献しました。また、写真コンテストでは作品を一般公募し、多くの応募がありました。こうした催しを通して当法人を広く知ってもらうことができ、今後のＮＰＯ活動にも繋がりました。

観測所敷地内の環境保全では、阿武山グリーンクラブが広大な敷地内の樹木伐採や草刈り、植栽など自然環境・景観保持など訪問者や近隣住民の方々の安全かつ快適な環境作りにも努めました。

以上、今期事業は次年度以降もより充実させ継続していきたいと思います。

Ⅲ　事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1)（事業名）　一般見学会

（内　容）　地震学の歴史講座と歴代地震計や地震・防災に関する各種展示のツアーガイドと屋上展望案内を行いました。また、大阪平野地下の活断層をＣＧ映像化したビデオを鑑賞しました。ミニプログラムとして希望者に阿武山古墳や観測所の建物の案内・解説や、敷地内の自然観察ツアーを行いました。今期はコロナ禍による感染症防止のため見学会の中止もありました。

（実施場所）　阿武山観測所

（実施日時）　毎月第２土曜日/第３日曜日　開催合計 19 回（中止 5 回）

①午前の部、10：00～12：00　②午後の部、13：30～15：30

令和 3 年

4 月 10 日、7 月 3 日/11 日、8 月 21 日/29 日、9 月 11 日/19 日

10 月 9 日/17 日、11 月 13 日/21 日、12 月 11 日/19 日

令和 4 年

1 月 8 日/16 日、2 月 12 日/20 日、3 月 12 日/20 日

（事業の対象者）　一般市民（参加者合計：446 名）

（収　益）　なし　（参加費無料、資料等の販売はなし）
（費　用）　なし

(2)（事業名）　団体見学会
（内　容）　10 名以上の団体を対象とする見学会。一般見学会の内容をベースに各団体の希望に応じて内容や所要時間等をカスタマイズできる見学会。
今期はコロナ禍による感染症防止のため中止もありました。
（実施場所）　阿武山観測所
（実施日時）　随時受付。開催合計 14 回、（中止 10 回）
10：00～16：00 の間で約２時間実施。
令和 3 年
4 月 1 日、7 月 17 日/18 日、9 月 5 日、10 月 1 日/22 日/28 日
11 月 12 日、12 月 12 日（2 回）、12 月 15 日
令和 4 年
1 月 10 日/29 日、3 月 13 日
（事業の対象者）　１０名以上の一般市民（参加者合計は 291 名）
（収　益）　なし（参加費無料、資料等の販売はなし）
（費　用）　なし

(3)（事業名）　ペットボトル地震計講座
（内　容）　小学生を対象にした地震学と工作の講座で、地震計の仕組みを勉強し、ペットボトルを使って簡易な地震計を作ります。学校では体験できないような学習の場を提供し、子どもの学習意欲の向上を図ります。また、夏休みの自由研究にも貢献することができました。
今期はコロナ禍による感染症防止のため募集人数を減らしました。
（実施場所）　①阿武山観測所　②人と防災未来センター　③高槻市立総合市民交流センター　④高槻市立自然博物館
（実施日時）　7 月 24 日/25 日　①阿武山観測所（高槻市）
主催:京都大学阿武山観測所　①10：00～12：00 ②13：30～15：30
（事業の対象者）　小学４年～６年生（保護者同伴）参加者合計は 19 組。
（収　益）　なし
（費　用）　なし

（実施日時）　7 月 31 日/8 月 1 日　②人と防災未来センター（神戸市）
主催：人と防災未来センター　①10:00～12：00 ②13：30～15：30
（事業の対象者）　小学４年～６年生（保護者同伴）参加者合計は 31 組。
（収　益）　75,500 円（講師謝礼：1 日 30,000 円、2 日分）
（参加費・資料代：1 名 500 円/31 名分）
（費　用）　38,110 円（講師等 8 名の交通費/29,160 円、工具配送料/8,950 円）

（実施日時）　8 月 9 日　③高槻市立総合市民交流センター（クロスパル高槻）
主催：高槻市みらい創生室　①10:15～12：00　②14：00～15：45
（事業の対象者）　小学４年～６年生（保護者同伴）参加者合計は 18 組。
（収　益）　なし
（費　用）　なし

（実施日時）　8 月 15 日　④高槻市立自然博物館（あくあぴあ芥川）
主催：あくあぴあ芥川　①10:00～12：00　②13：30～15：30

（事業の対象者）　小学４年～６年生（保護者同伴）参加者合計は10組。
（収　益）　なし
（費　用）　なし

(4)（事業名）　出前講座（防災講演会）テーマ「いつか起こるは今日かも知れない」
（内　容）　地震や防災に関する一般向けの講演会。我々を取り巻く地震環境についての講演会で、今後予想される大地震にどのように備えるか、政府発表の臨時情報等も取り入れた解説などを行う。また、身近で起こった大阪府北部地震などについても解説し、地震防災についての心構えなど関心を深めることができた。
（実施場所）　五領公民館（高槻市）　主催：五領公民館
（実施日時）　①10月15日　10:00～12：00
②11月19日　10:00～12：00
（事業の対象者）　高槻稲穂塾生と高槻市在住の６０歳以上の希望者。参加者合計は2日間で40名。
（収　益）　講師謝礼　20,000円/2日分
（費　用）　2,000円（講師交通費/1,000円×２回分）

(5)（事業名）　公開講座（新まんてんてらこや）　テーマ：「海の地震の測り方」
（内　容）　東日本大震災や南海トラフ地震等は海域で発生します。海の地震を詳しく調べるためには海底で観測する必要があります。海底地震計の開発にチャレンジしてきた研究者たちの創意工夫や観測の様子など成果について紹介しました。
講師は京都大学防災研究所、片尾 浩准教授。
（実施場所）　オンライン開催
（実施日時）　令和４年３月１５日　10：30～12：00
（事業の対象者）　一般市民/当ＮＰＯ会員
（収　益）　4,000円（参加費一般500円/8名、会員無料）
（費　用）　Peatix(イベント会社/手数料1,198円)
（決済費用988円、振込手数料210円）

(6)（事業名）　阿武山観測所の環境整備活動
（内　容）　阿武山グリーンクラブが中心となり、約10万平方メートルに及ぶ広大な観測所敷地内の樹木の伐採や草刈り、落ち葉処理や植栽など訪問者や周辺住民の安全かつ快適な環境作りに努める。また、樹木の名前プレートを設置して自然観察ツアーの補助も行いました。
（実施場所）　阿武山観測所構内
（実施日時）　毎月・金曜日
（事業の対象者）　見学者及び地域住民
（収　益）　なし
（費　用）　なし

(7)（事業名）　セミナー開催支援事業
（内　容）　阿武山観測所の２つの会議室や宿泊施設を活用したセミナーや宿泊研修会など、各種イベント開催を支援する。
（実施場所）　阿武山観測所
（実施日時）　随時
（事業の対象者）　一般市民および当法人会員

（収　益）　なし　今期は使用申込がなかった。
（費　用）　なし

(8)（事業名）教育関係者の研修、教育教材開発の支援事業。
（内 容）　教育関係者の研修や教育教材開発のための支援をおこなう
（実施場所）　阿武山観測所ほか
（実施日時）　随時
（事業の対象者）　一般市民（教育関係者）
（収　益）　なし　今期は研修申込がなかった。
（費　用）　なし

(9)（事業名）　写真コンテスト（学術、教育、文化・芸術の支援事業）
（内　容）　阿武山観測所や阿武山周辺を含む北摂地域で撮影された四季折々の写真を一般公募し、多くの応募がありました。入賞者には賞金や記念品を贈呈。また、作品は当法人のホームページやガイドブックに掲載予定です。こうした文化・芸術活動など、幅広いイベントを通して当法人のＰＲ・新規会員の獲得にも繋げたいと思います。
（実施場所）　阿武山観測所及び北摂地域
（実施日時）　令和３年１２月１日～令和４年２月２８日（応募期間）
（事業の対象者）　一般市民及び当 NPO 会員（全国から 52 点の作品応募）
（収　益）　なし
（費　用）　21,330 円　大賞 1 名/10,000 円、準大賞 2 名/5,000 円×2、他郵送料

2.その他の事業
(1)（事業名）　書籍販売（地震・防災に関連する資材・物資などの紹介と販売事業）
（内　容）「阿武山観測所ガイドブック」の販売
地震学の解説と阿武山観測所の歴史、保存展示している歴代地震観測機器の解説。また、昭和初期の歴史的な建築物の解説と周辺の自然・眺望なども紹介した冊子。
（実施場所）　阿武山観測所
（実施日時）　見学会や講演会等イベント実施日
（事業の対象者）イベント参加者
（収　益）　53,500 円（1 冊 500 円、販売部数 107 部）
（費　用）　11,584 円(印刷費:107 部)（500 部印刷費 53,690 円）

Ⅴ　理事会その他の役員会の開催状況
第2回理事会
（日　時)令和４年５月 24 日　13 時から 15 時
（場　所)オンライン(Zoom 形式)
(理事総数)12名
(出席者数)9名(うち委任状出席者2名、書面表決者1名)、監事2名
議事録作成人および署名人について議長から、溝口宏一氏･杖本富夫氏の2名を指名したところ、全員異議なく承認され議案に入る。

（内　容）第1号議案
令和3年度事業報告書･活動計算書･貸借対照表及び財産目録承認の件
収益事業に関して、減免制度などの意見がでたが、今後の検討課題とすることとして議長はその承認を全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、可決された。

監事より監査報告があり、会計年度における会計および業務は正確に処理されているとの報告があった。

第2号議案
令和4年度事業計画書・活動予算書承認の件
議長はその承認を全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、可決された。

Ⅳ 社員総会の開催状況
第2回通常総会
（日 時）令和４年６月15日 16時から17時30分
（場 所）オンライン（Zoom形式）
（社員総数）42名
（出席者数）19名（うち委任状出席者11名、書面表決者７名）
事務局より本総会は成立した旨の報告があり、議長選出に入る。
議長の立候補を諮ったところ、立候補がなかったので理事長を指名し、承認を諮ったところ、全員異議なくこれを承認し議事に入る。
議事録作成人及び署名人について議長から、溝口宏一氏・杖本富夫氏の2名を指名したところ、全員異議なく承認され議案に入る。

（内 容）第1号議案
令和3年度事業報告書・活動計算書・貸借対照表及び財産目録承認の件
事務局長より内容等を詳細に説明し、審議の結果全員一致で可決承認された。
第2号議案
令和4年度事業計画書・活動予算書承認の件
事務局（会計）より内容等を詳細に説明し、審議の結果全員一致で可決承認された。
第3号議案号議案
役員選任の件
定款により、役員任期は令和４年６月30日までで、審議の結果、全員一致で可決承認された。
審議事項はすべて終了したので、議長は閉会を宣言し、第2回通常総会は終了した。